さらに発展

蒔絵風の模様が美しい万年毛筆・ボールペンと、手紙を書くことの楽しさを紹介した手紙読本

藤枝にちなんだ商品を開発 お店のPRにもつながりました

藤枝事務器商会
代表取締役社長
村松 章隆さん
岡出山店店長
村松 裕子さん

当社は、藤枝市内で文房具専門店を2店舗（岡出山店・緑町店）経営しているほか、OA機器や事務用品の販売、オフィスの内装工事などの事業を静岡県内で展開しています。

お店では、数年前から藤枝市の花である「藤の花」にちなんだ便箋や封筒、一筆箋など、50種類ほどの和風の文具を扱っていましたが、筆記用具はありませんでした。そこで、当社のオリジナル商品として、独特の色彩と光沢感のある藤の花をデザインした「藤の花蒔絵風万年毛筆」を、昨年9月に開発しました。

筆ペンが苦手な方にも使ってもらえるように、替え芯には水性ボールペンと極細サインペンの2種類を用意。また、高級感のある桐の箱に入れているので、贈答品としてもお使いいただけます。

12月には、藤の花と富士山、茶畑を描いたボールペンも発売。そんなときに、商工会議所から経営革新計画の策定を提案してもらいました。私たちにも「藤枝の魅力を発信したい」という思いがありましたので、申請の手続きをサポートしてもらいながら準備を進めました。

計画の承認を受けたことで、新聞や雑誌などで紹介される機会が増え、当社のPRにもつながりました。特に地元紙に掲載された直後は反響が大きく、一日中、問い合わせの電話を受けたほどでした。取引先との話題づくりにもなり、官公庁の永年勤続の記念品や、県外へのお土産などの贈答品としてお買い上げいただいています。

11月18日からは、富士山静岡空港にある静岡県の情報発信スペースに展示してもらえることになりました。藤枝を知ってもらい、市の活性化につながると思うと喜びも倍増します。

今後は藤の花のオリジナル商品を増やしていく予定ですが、全国の市の花を描いたボールペンなども製作し、地域のPRに貢献したいと考えています。商工会議所にアドバイスをもらいながら、取り組んでいきたいですね。

ご相談は最寄りの商工会議所までお気軽にどうぞ！

担当者からひと言

藤枝商工会議所（静岡県）
会員サービス課
経営指導員
吉田 康夫

藤枝事務器商会さんの経営革新計画は、昨年の12月から書類を作成したり写真を撮影したりしながら準備を進め、3月に承認されました。万年毛筆とボールペンに加え、岡出山店長の村松裕子さんが著作した手紙読本「12ヶ月のお手紙まわり」が藤の花にまつわる市内の名所を盛り込んでいることから、シティープロモーションにつながると考え3つをセットで申請。審査会でも高く評価されました。

村松社長は、かつてはサッカーのアジアユース日本代表に選出され、現在は商工会議所の商業振興委員として活躍いただいています。

藤枝ならではのもの、郷土愛を形にしてもらえるように、当所も新商品の開発や販路拡大に協力していきたいと思います。